

<p>【人材の養成に関する目的】</p> <p>■文学部 文化現象の総合的理解およびその継承を基本理念とし、その実現のために、少人数教育を基本とする教養教育および専門教育との適切な調和を考慮したきめ細かなカリキュラムによって、問題発見能力および多面的な分析能力の伸長を図ること、ならびに言葉を通して形づくられた人間、歴史および社会の多様なあり方を考究し、共感を持って他者を理解する能力および自己を他者に正確に伝達する能力を涵養することによって、社会的な活動を自律的に展開するための基礎を構築することを目的とする。</p>	<p>■日本文学科 1 日本語学及び日本文学を学ぶことによってはじめて可能となる高度で柔軟な日本語運用力を身につけるとともに、日本人や日本文化についての幅広く体系的な教養と深い理解を獲得し、それらを社会生活において有効に活用しつつ、次の時代に受け渡すことのできる人材を養成す 2 多様な国際社会の中で、自らの文化的特性に立脚しつつ自律的に行動できる基礎的な判断力及び自らの思いを積極的に伝えることのできる豊かな表現力を備えた人材を養成する。</p>
---	--

【ディプロマ・ポリシー（DP）】
文学部日本文学科は、大学全体の学位授与方針に基づき、「専門分野の知識・技能の修得」「教養の修得」「課題の発見と解決」「表現力、発信力」「多様な人々との協働」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された教育課程において、所定の単位を修得した者に対して学士（文学）の学位を授与します。

<p>【専門分野の知識・技能】 (DP1-1) 日本文学科の専門分野に関する知識・技能を修得している。 (DP1-2) 日本語学研究における基本的な知識と研究方法を修得している。 (DP1-3) 日本文学研究における基本的な知識と研究方法を修得している。 (DP1-4) 日本人及び日本文化についての幅広く体系的な知識を修得している。</p>	<p>【表現力、発信力】 (DP4-1) 自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ味わい深く発信できる豊かな表現力を身に付けている。 (DP4-2) 日本語学及び日本文学に関して、一般の人にわかりやすく説明できる。 (DP4-3) 日本語学及び日本文学に関する分析を、わかりやすく文章や図表にまとめることができる。</p>
<p>【教養の修得】（広い視野での思考・判断） (DP2-1) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。 (DP2-2) 日本語及び日本文学に関し、学科教育の基盤をなす諸学問分野の視点を組み合わせ、必要に応じさらに幅広い分野の知見を加えて、学際的かつ総合的に理解する力を備えている。</p>	<p>【多様な人々との協働】（コミュニケーション+協調性+チームワーク） (DP5-1) 多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。</p>
<p>【課題の発見と解決】（情報の調査収集+分析・解釈+論理的思考） (DP3-1) 課題の本質を発見するために必要な情報（文献、統計等を含む）を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。 (DP3-2) 書籍、雑誌、新聞、インターネット等の多様なメディアにおいて、取得できる知見やデータの所在、種類等を熟知し、必要ときに必要な情報を入手することができる。 (DP3-3) 日本語学あるいは日本文学の諸問題に関して、過去の文献等も含む様々な資料から幅広く情報を調査収集し、それらを分析しつつ、的確かつ論理的な考察を行うことができる。</p>	<p>【自発性、積極性】 (DP6-1) 学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。</p>

※ 全学共通科目については、「全学共通科目（成蹊教養カリキュラム）：学修・教育目標（科目グループ別カリキュラム・フロー）」を参照。

科目グループ	主なDP	科目グループの学修・教育目標	1年次 配当科目・単位数		2年次 配当科目・単位数		3年次 配当科目・単位数		4年次 配当科目・単位数	
			第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第5ターム	第6ターム	第7ターム	第8ターム

1 専門科目

必修科目	基礎科目	1-1	日本文学・日本語学の概要の理解を通じて、日本文学・日本語学の基礎的な知識と研究手法を身につける。	日本語・日本文学入門Ⅰ②	日本語・日本文学入門Ⅱ②						
	基本ゼミ科目	1-1 3-1 3-3 4-1 5-1	ディプロマ・ポリシー「③、④」に掲げる能力を身につける。	日本文学研究の基礎②	日本語法②	日本語研究の基礎②					
						古典文学基礎研究Ⅰ②	古典文学基礎研究Ⅱ②	日本文学演習Ⅰ②	日本文学演習Ⅱ②	日本文学演習Ⅲ②	日本文学演習Ⅳ②
						近現代文学基礎研究Ⅰ②	近現代文学基礎研究Ⅱ②	日本語学演習Ⅰ②	日本語学演習Ⅱ②	日本語学演習Ⅲ②	日本語学演習Ⅳ②
						日本語学基礎研究Ⅰ②	日本語学基礎研究Ⅱ②				卒業論文⑧

選択科目	文学史科目	1-1 1-3	各時代の中で文学が果たした役割や意義等の学修を通じて、作品の歴史的な位置付けや文学思想などの基礎的な知識を身につける。	古典日本文学史A②	古典日本文学史B②	近現代日本文学史A②	近現代日本文学史B②															
	日本語学講義科目	1-1 1-2	日本語の歴史や構造等を体系的に学修することを通じて、日本語を深く考察する力を身につける。	日本語の歴史A②	日本語の歴史B②	日本語学講義A②	日本語学講義B②	日本語学講義C②	日本語学講義D②	日本語学講義E②	日本語学講義F②											
	日本文学講義科目	1-1 1-3	それぞれの時代における文学作品の学修を通じて、作品を読み解く方法や視点を身につける。	文学作品をどう読むか②	古代日本文学講義A②	古代日本文学講義B②	古代日本文学講義C②	古代日本文学講義D②	中世日本文学講義A②	中世日本文学講義B②	中世日本文学講義C②	中世日本文学講義D②	近世日本文学講義A②	近世日本文学講義B②	近世日本文学講義C②	近世日本文学講義D②	近現代日本文学講義A②	近現代日本文学講義B②	近現代日本文学講義C②	近現代日本文学講義D②	近現代日本文学講義E②	近現代日本文学講義F②
	学際講義科目	1-1	日本語・日本文学研究を側面から支える学際分野や日本文化の学修を通じて、作品理解の幅広い視点を身につける。	比較文学A②	比較文学B②	漢学基礎②	日本語・日本文学総合テーマ講義A②	日本語・日本文学総合テーマ講義B②	日本語・日本文学総合テーマ講義C②	日本語・日本文学総合テーマ講義D②	日本語・日本文学総合テーマ講義E②											
	日本探究科目			漢文学A②	漢文学B②	中国文学史A②	中国文学史B②	書誌学セミナー②	日本探究特別講義A②	日本探究特別講義B②	日本美術史A②	日本美術史B②	日本民俗学A②	日本民俗学B②	日本の文学と思想②	日本演劇史②	物語と絵画②	貴族社会の暮らしと文学②				

科目グループ	主なDP	科目グループの学修・教育目標
日本語力錬成科目	1-1	実践的な学修を通じて、美しく豊かな日本語の運用能力を身につける。

2 自由設計科目（選択科目）

文学部共通科目	トピック・セミナー	2-1	テーマに沿ったいくつかのトピックを取り上げた学修を通じて、専門への基盤となる幅広い素養を身につける。
	ことばの世界	2-1	古典語の学修を通じて、語学力を磨き、異文化に対する理解を深める。
	東洋文庫連携科目	2-1	東洋文庫との連携による講座を通じて、歴史・文化に対する理解を深める。
	芸術文化行政コース開設科目	5-1 6-1	行政による芸術文化支援について学修し、芸術文化振興の担い手として必要とされる知識と能力を身につける。
	日本語教員養成コース開設科目	4-1 6-1	外国人に対して日本語を教授するために必要な言語としての日本語をめぐる知識および日本語教授法の実践について学修する。
	文学部総合講義	2-1	外部機関との連携等による講座を通じて、幅広い教養を身につける。

複合・学際科目	EAGLE科目	2-1	高い英語力を備え国際的な活動に関心のある学生を対象とした全学的なグローバル教育プログラム（EAGLE）の科目であり、グローバル市民として国際性と学際性の高い知見と教養、ビジネスや実社会で求められる主体性及び実践的なスキルを養う。
	全学共通科目超過単位	-	各科目グループ、全学共通科目の規定の単位数を超えて修得した単位、他学科科目、他学部科目の履修、他大学との単位互換制度で修得した単位を卒業のための単位として認めるための区分であり、学生自身の興味や将来の目標などに応じて、長期的な履修計画を立てながら有効に活用することができる。
	他学科・他学部・他大学	-	

1年次 配当科目・単位数		2年次 配当科目・単位数		3年次 配当科目・単位数		4年次 配当科目・単位数	
第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム	第5ターム	第6ターム	第7ターム	第8ターム
日本語を正しく話す②		創作講座② 日本語表現の特質② 応用日本語講座②					

トピック・セミナーA②	トピック・セミナーB②	トピック・セミナーC②	トピック・セミナーD②	トピック・セミナーE②	トピック・セミナーF②
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

ラテン語②	古典ギリシア語②
-------	----------

展示から探る歴史・文化②

文化政策学②	アート・アドミニストレーション②	地方自治体の文化行政②	文化政策と法②	舞踊論②	アート・ジャーナリズム②	上演芸術論②	芸術文化行政特講A②	芸術文化行政特講B②	写真論②
制作実習A②		制作実習B②	制作実習C②	制作実習D②	制作実習E②	制作実習F②			

日本語教育概論②	日本語教育方法論②	日本語教育理解と実践②	日本語教育事情②	言語学講義（言語と社会）②	日本語の学習と習得②	言語の構造②	対照言語学②
日本語教授法②		日本語教育演習②			日本語教育実習①		

文学部総合講義A②	文学部総合講義B②	文学部総合講義C②	文学部総合講義D②	文学部総合講義E②	文学部総合講義F②
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

International Business②	Japanese Economy②	Current Topics in Business and Economics②
International Relations②	Regional Studies②	Current Topics in Global Issues②
Japanese Contemporary Issues②	Japanese Traditional Culture②	Current Topics in World Affairs②

(全学共通科目の所定の単位を超過して修得した単位：6単位まで卒業に必要な単位に算入。)
(他学科の専門科目、他学部の専門科目および単位互換制度による他大学開講科目で修得した単位)